

ガス用電磁弁 DSG, DSG-W, MN, MN-W 取扱注意書

このたびはCKDの製品をご採用いただきありがとうございます。ガス用電磁弁DSG(ーW)、MN(ーW)は都市ガス・天然ガス・LPガスを使用する燃焼装置の遮断弁として使用します。(Rタイプは除く)

製品をお使いになる前に、この取扱注意書を必ずお読みください。

この取扱注意書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品は電磁弁を使用するに当って、材料・流体・配管・電気などについての基礎的な知識を持った人を対象にしています。

本製品についての知識を持たない人や十分な訓練を受けていない人が選定、使用して引き起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。

お客さまによって使用される用途は多種多様にわたるため、当社ではそれらのすべてを把握することができません。

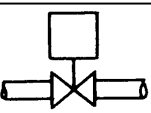
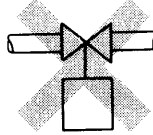
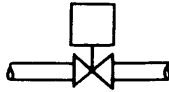
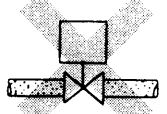
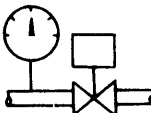
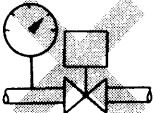
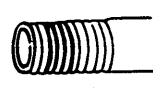
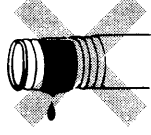
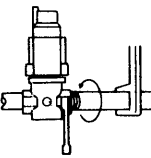
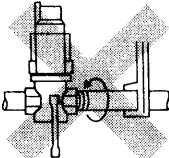
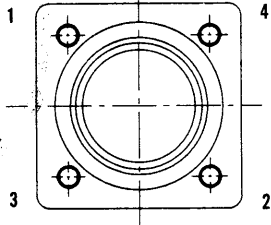
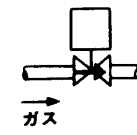
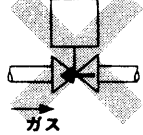
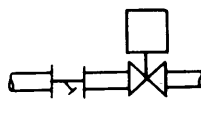
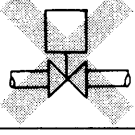
用途・用法によっては流体・配管・その他の条件により性能が発揮出来ない場合や事故につながる場合がありますので、お客さまが用途・用法にあわせて製品の仕様の確認および使用法を責任をもって決定してください。本製品には、さまざまな安全策を実施していますがお客さまの取扱いミスによって事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、必ず取扱注意書を熟読し内容を充分にご理解いただいたうえでご使用ください。

本文中に記載してある取扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注 意

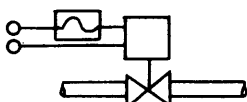
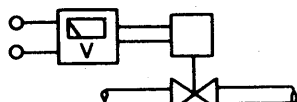
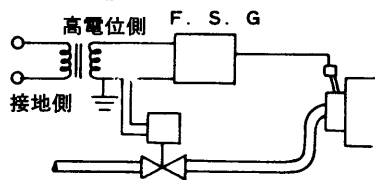
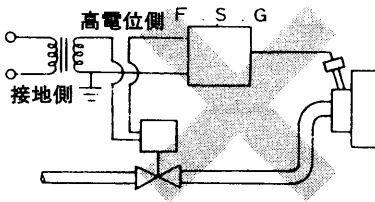
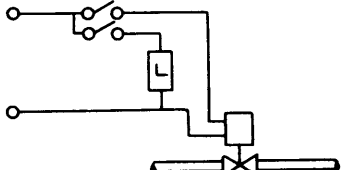
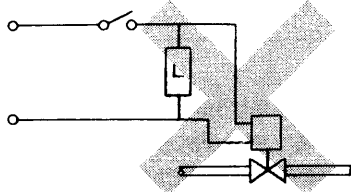
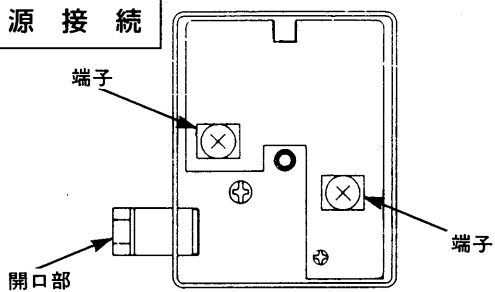
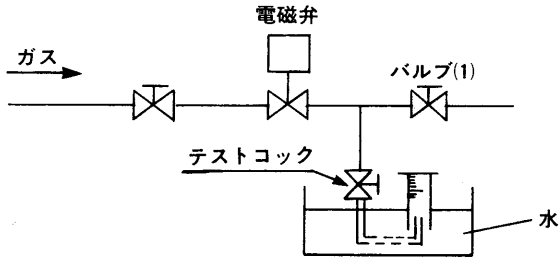
- 電磁弁アクチュエータ部は電気を通電すると発熱し、高温になる場合があります。直接触れると火傷をする場合がありますのでご注意ください。
- 電磁弁の電気配線接続部(裸充電部)に触れると感電する恐れがあります。
点検時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。

●配管工事上のご注意

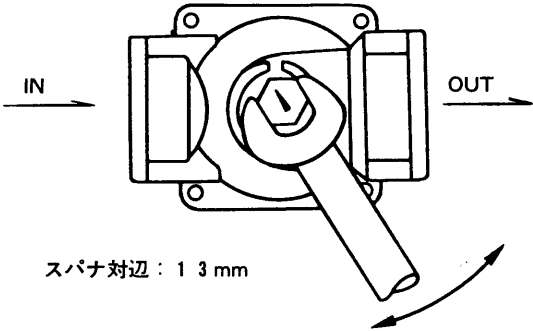
 注 意	
仕 様 確 認 電圧、ガス圧力が仕様に適合しているかどうか製品に貼ってある銘板内容にて確認してください。	取 付 姿 勢   電磁弁はアクチュエータ部を上とした垂直または水平取付けとしてください。
エアフラッシング   フラッシングにより切り粉、異物などを除去した後電磁弁を取付けてください。	使 用 圧 力   入口側圧力は銘板上に記載されている最高使用圧力以上にならないようにしてください。 入口側圧力が高い場合はガバナを取付けて適正圧力でご使用ください。
シール剤塗布   シール剤はガスメカ指定品をお使いください。ネジ込み接続の場合は、配管ネジの先端より2山目から塗布し、塗りすぎに注意し配管内へのシール剤の流入を防ぎ、漏れのないよう配管してください。	取 付   ネジ込み接続の場合は、アクチュエータ部やボディの圧力検出ポート部をチャックおよび利用しての配管接続はしないでください。必ずボディ接続ポート2面をスパナ・レンチなどでつかみ、配管してください。
ネジ部長さ   ガス管のネジ部長さは有効ネジ長さを守ってください。長過ぎたり短過ぎると破損および漏れの原因となります。なおネジ部先端より半ピッチほどヤスリできれいに削ってください。	 フランジ接続の場合は、適切なOリングを使用し、ボルトは片締めのないように均等なトルクで締付けてください。
流 通 方 向   電磁弁本体の矢印により表示されているガス流路方向に従って取付けてください。	
フィルター取付   電磁弁の手前にはガスフィルターを取付けてゴミ、異物を除去してください。	
周 囲 温 度   電磁弁は必ず取付位置の周囲温度が銘板上に記載されている許容範囲内で使用してください。	

許容周囲温度内 許容周囲温度外、

●電気配線および試運転上のご注意

 注 意	
ヒューズ取付	 電磁弁回路にヒューズを取付ける場合は適正な容量のものをご使用ください。電線は断面積0.75 mm²以上のものを使用し先端部はハンダにて固定をしてください。 電 源 電 圧  電源電圧は定格電圧の-15～+10%の範囲内でご使用ください。
結 線	  電源の結線は高電位側と接地側を左図のように正しく接続してください。
サージ電圧防止	  電磁弁と誘導負荷(例えばモータ、多数のリレー)を並列に接続する場合は左図のようにサージ電圧が電磁弁にかからない配線としてください。
電 源 接 続	 端子 開口部 MN(-W) 端子箱内部の端子に電源を接続してください。DCタイプ(オプション)の場合も極性はありません。 DSG(-W)・MN(-W)共通 電源接続終了後、電線管ネジ部開口部に、防水・防塵処理を施してください。 (本体からでている電線に極性はありません。)
外部漏れ確認	外部漏れがないかどうかを石けん水などで確認してください。
動 作 確 認	電磁弁に電源電圧を印加し弁が動作している事、また電源電圧を切ると弁が元の位置に復帰することを確認してください。
内部漏れ確認	 ガス 電磁弁 バルブ(1) テストコック 水 バルブ(1)を閉め、テストコックの先にゴムホースをつなぎ先端を水中に10mm程没し、気泡がでるかどうかわれチェックしてください。

●オプション機能およびその他取り扱い上の注意事項

 注 意	
流量調整付(Y)	DSG(-W)：オプション MN(-W)：標準  スパナ対辺：13mm ガス種、圧力およびカロリーの変更をする際には電磁弁に取付られている流量調整装置を使用し、ガス流量を調整してください。電磁弁本体下部に取付けられている調整コックを回して調整します。調整コックに刻印されている矢印がOUT側を指していれば最大流量となります。 回転方向：任意 流量調整範囲：30～100% (DSG、MN共通)
検圧ポート付(P)	DSG：オプション DSG-W、MN(-W)：標準 検圧孔使用後(検圧後)はブラנקプラグ(栓)を確実に締め付け、外部漏れが無いことを確認してください。
定期点検	電磁弁は年に1回以上動作および漏れ確認試験を行ってください。動作等に異常があった場合の修理については、お買上げの販売店またはお近くのCKD各社にご相談ください。
分解等について	電磁弁の分解は行わないでください。
製品の保管	電磁弁を一定期間保管する場合は特に高温、多湿、腐食性の雰囲気は避けてください。
その他	その他の製品の仕様、性能等についてご不明な点等がございましたら下記販売店へお問い合わせください。

CKD株式会社

□本社・工場 〒485-8551 愛知県小牧市応時 2-250

□東京支店 TEL(03)5402-3620

□名古屋支店 TEL(0568)74-1356

□大阪支店 TEL(06)6459-5770

各販売店は当社カタログもしくはホームページを確認ください <http://www.ckd.co.jp/>